

令和元年度 光台寺保育園事業報告

(1) 経営基本方針

- ア 保育指針の学習と実践
 - イ 保育士等の資質向上のための各種研修会への積極的な参加と学習
 - ウ 3歳未満児の保育の強化
 - エ 乳幼児や障害児・発達障害児の受け入れを積極的に推進
 - オ 地域社会との交流、老人施設訪問等
 - カ 人権教育の推進
 - キ 労働基準に沿った職員の適正な労働時間
- アからキの内容について、方針のとおり実施することに努めた。

(2) 保育運営

- ア 保育目標 園児の生活面での自立・頑張る姿を育てるように努めた。
 - 【元気な子ども】 心身ともに健やかに育てる。
 - 【仲の良い子ども】 思いやりの心を育てる。
 - 【ありがとうを言える子ども】 感謝の心を育てる。
 - 【考える子ども】 よく考え、行動する。

イ 保育時間

午前7時～午後6時を基本とする。(開園時間 7:00～19:00)
園児の保護者の勤務状況により短縮、延長保育を行った。

(3) 給食運営

- a 年齢に応じて必要な栄養を与え、心身の健全な発達を促すようにした。
- b アレルギー食については、個別に対応した。
- c 保育士との協力により、食事の喜びや感謝の気持ちを育て望ましい食生活習慣を身につけさせるように努めた。
- d 家庭との連携を通して、地域の食生活の改善にも貢献するように努めた。

年間給食計画

球磨郡私立保育園協会給食部会の給食献立に準じて実施した。

(4) 安全管理

子どもの安全に関しては、常に危機感を持ち、園舎内外、遊具の安全点検を定期的
に実施した。

(5) 保健衛生管理

入所児童及び職員の健康状態には常に注意を払い、日々健康チェックを行うほか、嘱託小児科医師・歯科医師による定期健診を年2回実施した。

(6) 地域との連携

ア 地域の子育て支援センターとして育児指導を行った。

イ 地域の方たちや、老人会との交流を行い、保育園の広報、宣伝を行った。

ウ 園施設を地域に開放し、運動会、保育参観、その他さまざまな機会に交流を広げること
に努めた

エ 地元新聞等に、園の行事を取材し掲載してもらった。

オ 町内の小学校、中学校からの保育体験依頼や、養成校からの実習依頼に関しては、支障
のない限りなるべく受け入れるようにした。

令和元年度の実習申し込みについては、全部受け入れて実習の協力を行った。

(7) 人材の育成

ア 保育の中で、経験のある職員は、積極的に後輩の指導を行うよう心がけた。

イ 保護者会活動を通して、地域の人材の育成を図ることに努めた。

(8) 保育園環境の整備

特になし

令和元年度主な事業報告

社会福祉法人 光台寺福祉会
理事長 立山康生

社会福祉事業

第2種社会福祉事業

- (1) 保育園の経営
- (2) 地域子育て支援拠点事業

光台寺保育園

- ・物品購入等

日々の保育活動に必要な軽微な消防品に類する物品の購入
理事長専決事項により購入した物品（別紙のとおり）

- ・特別保育事業

延長保育事業

障害児保育事業

子育て支援拠点事業

一時預かり保育事業

- ・自主保育事業

特になし

公益事業

- 福祉教育活動及び地域他機関との連携活動

- ・地域の学校行事への参加
- ・保育士養成校からの実習や、多良木中学校の職場体験の受け入れを行い、福祉人材の育成や関係機関との連携の構築に取り組んだ。
- ・地域のイベント参加や保育園でのイベントに地域の方も参加していただき、連携の構築と地域活性化に取り組んだ。

収益事業

- ・なし